



道

学校教育目標
ともに学び、
心豊かで
たくましい
子供の育成

学び合う子供たち



校長 深川 善弘

先日、6年生が浜谷さん親子（滑川市ホタルイカ音頭保存会）の指導で、「邦楽教室」の一環として、三味線を体験しました。1学級毎に1校時（45分間）の体験をしたのですが、その指導方法が実によく考えられていて、感心しました。まず、学級毎に4～5人で8つのグループをつくり、それぞれに一棹の三味線が用意されました。グループ毎に車座になり、三味線を弾く場所を固定して、数分毎に輪番で三味線を弾きます。始めはやさしいことから、徐々に指示される内容がレベルアップしていきます。自分の番が終わっても、しばらくして、また、自分の番が回ってきます。次第に、三味線を弾いている児童はもちろん、車座になって待っている他の児童も、自分が弾いているつもりになって、真剣に手を動かすようになりました。さらに時間が経つと、お互いに助け合う雰囲気が出てきて、全員で教え合い、学び合う形で進めるようになっていました。このようにして、多数の児童が、なんとか新川古代神の伴奏ができたという満足感をもって「邦楽教室」を終えることができました。

浜谷さんにお話を聞いたところ、毎年いくつもの学校に招かれ、児童に三味線を教えることにはかなり熟達されていることが分かりました。おそらく、1校時という時間的な制約がある中で、だれもが分かり、できるようになる、そして、達成感を味わえることを考え、試行錯誤のうで生み出された指導方法なのだと思います。私たち教員にとっても、大変勉強になった機会でした。

さて、今年度、本校は「学び合う子供の育成」を掲げて、教員の研修と実践を重ねてきましたが、「学び合い」は、どの程度できたのだろうか、どんな成果があったのだろうか、今学期中に成果と課題をまとめることになっています。国レベルでは、前任の文部科学大臣、下村博文先生が、新しい学習・指導方法として「アクティブ・ラーニング」を提唱されました。主体的・協働的に学ぶことに主眼があります。この動きについては、次期の学習指導要領（教育課程の基準）に反映される見込みで、現在、中央教育審議会に諮問されています。

学級の全員が主体的に学習に取り組み、仲間と協働で課題を解決をしていく、ごく当たり前のことのように思いますが、この学習・指導方法が改めて見直されています。今後、本校でも研究を積み重ね、その実現へ向けて努力していきたいと思っています。

第2回学校評議員会のお知らせ

平成27年12月18日（金）本校会議室において、今年度2回目の学校評議員会を開催いたしました。学校からは、一学期末の学校教育活動に関するアンケート結果、一、二学期のアクションプランの取組結果について説明しました。それを基に、学校評議員のみなさんと協議をしていただきました。

1 学校評議員の紹介

東部小学校同窓会会長	廣澤 勲さん	東部小学校振興会会長	前田 信一さん
放課後児童クラブ指導員	金川清美さん	東部小学校PTA会長	和田 英典さん
富山県ガールスカウト指導員	林 恵子さん		

2 協議された内容

(1) 学校教育活動に関するアンケート結果から

① アンケート結果の活用について

学校教育に関するアンケートについては、親子で一緒に振り返ることができればよい。評価の結果から、教師、親、子がそれぞれの立場で、今後どのようにしていけばよいか考えることが大切である。

② 学校生活、授業について

「分かる授業、楽しい授業の工夫に努めていますか」や「友達と仲良く遊んだり活動したりしていますか」の評価結果から、子供たちにとって、学校生活や授業が楽しそうなのでよい。

③ 情報教育について

スマートフォンだけではなくゲーム機を使って、メールの送信ができるため、使い方を誤ると、いじめにつながることもある。学校での指導だけではなく家庭での指導も必要である。

(2) アクションプランの取組経過から

① 本に親しむ児童の育成について

おすすめの本を読む目標を達成するためには、子供たちが、おすすめの本を図書室ではなく教室に置いてすぐ読めるようにしておくことや放送でおすすめの本の紹介をできるだけ分かりやすく宣伝し、読みたくなるようにすることがよいのではないかと。

② 気持ちのよいあいさつや言葉遣いをする児童の育成について

地域では、子供たちにあいさつをすると子供たちからあいさつが返ってくる。子供からあいさつをしないのかもしれないが、大人があいさつしたときに、知らない顔をせずにあいさつを返してくることから、子供たちのあいさつの評価が高いのは納得できる。子供同士の話を聞いていても、ていねいな言葉遣いをしている。

③ 進んで体力づくりに取り組む児童の育成について

今年度から取り組んでいるなわとびは、PTA教養講座の影響もあり、子供たちが意欲的に練習している。視力低下や肥満傾向の児童が多いことが気にかかる。視力低下は、テレビやゲームをする時間が影響していると思われる。肥満傾向は、一人一人の個人差もあるが、車での送り迎えが増えて歩かなくなっていることが原因の一つではないかと考えられる。学校の課題として、家庭や地域とも協力して解決に向けて取り組んでいきたい。

学校評議員のみなさまには、長時間に渡り熱心に話し合いをしていただき、ありがとうございました。